

# 澄んだ瞳

第74号  
令和4年12月号

発行  
相生市教育委員会  
相生市人権教育研究協議会

じんけんぶんか  
人権文化をすすめよう！

じんけんしゅうかん  
人権週間

がつ か  
12月4日から10日 か

## 「人権文化」とは

「日常生活の中で、お互いの人権を尊重する」ことを、自然に感じたり、考えたり、行動するところが「当たり前」になった生活をいいます。

## 「XO」



六月十九日曜日、父の日でした。おとうとといもとうといっしよに手がみや絵をかいてプレゼントしました。

お父さんはかきくのためにおしごとをがまひつへわわります。お父さんはいっしよ

さして、いっしよにあそんでくれたり、

べんきようやうんどうを教えてくださいます。あんまりおごらないし、おかさんに  
おごられたときにももってくれます。

これからも元気でやさしいお父さんでいてほしいです。しごとがお休みの日は、ゆっくり休んでほしいけれど、わたしたちともいっしょにあそんでくれたらうれしいです。

小学2年生

## 「もっともっと」

### ベトナムのじよ日本のじよ

ベトナムと日本のちがいが今日のべんきようでよく分りました。

日本では、歩いて学校に行くのじよ、ベトナム

ムでは、じてん車やバイクにのせてもらうのじよ聞いて、さいしよは「すごい」と思いました。でもベトナムは、バイクや車が多いから、ベトナムにあったやり方をしないとあぶないというじよに気がつきました。それぞれの国によってちがっていてもいいんだなと思いました。

ほかにも、ベトナムの「アオザイ」というふくは、日本じよっての「きもの」だじよいうじよ、お正月に食べる「バインチュン」は「おもち」だじよいうじよを知って、それぞれの国の文化があるじよに気がつきました。もっともっとそれぞれ



の国について知りたいです。

(小学2年生)

「母への生まれた口」を学習して

ぼくはこの授業で、生まれることが、きせき近くを知ってびっくりしました。ぼくは今までそんなことを思っていりませんでした。ぼくがお母さんのおなかの中にいるときにお母さんが病気になるまで、おなかの中で元気に育つことができてよかったと思います。

ぼくの名前の由来は、「かがやいてほころ」という意味らしいです。みんなの名前でも、教科書に出てきた「のび太くん」みたいに、いろいろな意味があることがわかりました。今まではお母さんのことを「しかってばっからでいやだな。」と聞いていたけれど、この勉強を通じて、「しかる」という意味がわかりました。お母さんは

「親がきびしくしかる理由は、好きだからだよ。」

と言っていました。親はみんな、ぼくたちのことを思っただけでいてくれるんだと知りまし



た。お母さんやお父さんは、ぼくたちのために働いたりがんばったりしてくれているので、これからは少しでも自分のできることは自分でしていきたいと思えます。

(小学4年生)

「やんちゃな自分」

ぼくの自然学校に向けての目標は「ゆずらあり」です。理由は、いつも自分が、自分が「やんちゃな自分」のやりかたを、そして「やんちゃな自分」のやりかたを

できていないからです。

自然学校では「ゆずりあい」も必要になってくると思います。班の活動で役割分担をするときなど、自分のやりたいことだけを言うのではなく、友だちのやりたいことも聞いてあげることが大切だと思います。

だから、みんなが楽しい気持ちで自然学校を過ごせるように意識して行動しようと思います。



(小学5年生)

「中央小祭りを振り返って」

六年生の私にとっては小学校最後の中央小祭りだったので、「全力で楽しむ。」と思いながら、お店をまわった店番をしたりしましたが、私が思っていた以上に楽しむことができました。それは自分の班

や仲間のおかげです。五年生はお店をまわる手伝いをたくさんしてくれて、低学年の子たちはゲームラリーを楽しませてくれました。後悔のない中央小祭りになったと思います。

この楽しい中央小祭りがこれからもずっと残っていてほしいなと思いました。



(小学6年生)

## 「体育祭を終えて」

今年も昨年と同じで、午前のみの短い体育祭でしたが、とても充実して楽しむことができました。

私は昨年とは違い、今年には生徒会役員の一員としていろいろな準備をしました。開会式や閉会式、生徒会種目、指揮など、協力しながら完成させていきました。どれもがとてもいい体験になりました。

他にも指揮、出発、審判、用具準備の係それぞれが協力できていたからこそ、今回

のような充実感のある体育祭になったのだと思います。スローガンにもあったように「仲間と共に」協力することができました。

また、競技のほうも協力して頑張ることができました。最後まで力を出し切れたので良かったです。「感動の証」を創ることができました。

来年は三年生として体育祭に挑みます。今回、準備や指揮、言葉

についても先輩たちにお助けられた場面がたくさんありました。私もそんなふうに誰かをお助けられることができる先輩になりたいです。



(中学2年生)

## 「ユニバーサル社会」

ユニバーサル社会の授業を受けて、私は真っ先に私のおばあちゃんのことか思い浮かびました。

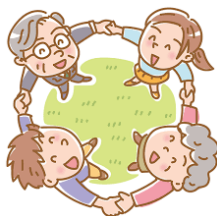
おばあちゃんは足が弱いので、私はよく

手助けをしています。階段があれば、手を貸して一緒に階段を下りたり、お風呂の時は滑らないようにマットを敷いたりするなど、少しでも助けたいと思います。フォローしてました。そうしていると、いつもおばあちゃんありがとうございます。「ありがとう」と感謝の言葉を伝えてくれます。その度に私は「まだ助けよう。」と思います。

この経験をいかして、身近なところ以外でも、高齢者の方が困っていたら、「大丈夫ですか?」「大丈夫ですか?」と声をかけて助けることができるようになりたいと思います。

少子高齢化が進むこの世の中で、困っている高齢者はたくさんいると思います。だからこそ、困っている方々を率先して支えるような人たちが増えるといいなと思います。

(高校2年生)



## 「校内生活体験発表会」

校内生活体験発表会で「人見知り」という



内容がありました。私も人見知りです。中学生の頃は男女関係なく、何も考えずに話せていたけれど、中学三年の途中から不登校になり、人と関わるのが苦手なまま高校生になりました。

「このままではだめだ。」と思い、自分から話しかけるようになりました。最近では分からないことを聞くなどして、普通の会話もできるようになりました。高校生になって人といろいろ話せるようになって、苦手だった勉強でも良い点を残せるようになりました、めんどうなことからも逃げずにやり遂げることができるようになりました。

しかし私は将来やりたいことがありません。まだ決まっていなくて、やりたいことがあるのはすくなくいいことだと思います。発表者が将来のことを考え、それに向けて今頑張っているのを見て、私も将来が決まっていなくても資格を取ることや様々なことを調べて視野を広げてみるなど、行動をいろいろとしてみました。



(高校生)

# 人権週間

## 人権週間



12月4日(日)～10日(土)

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」(Human Rights Day)と決めました。

法務省及び全国人権擁護委員連合会は、「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚に努めています。

令和4年12月4日から10日までの1週間を、「第74回人権週間」として、人権啓発活動を実施しています。

## PTCA活動実践発表会

### 人権ふれ愛コンサート

日時 12月3日(土) 13時00分～

※コンサートは14時20分開演

相生市文化会館扶桑電通

なぎさホール 大ホール

内容 渡辺りえこさんによる

トーク&手話ライブ

「共に生きよう」とする気持ち

～お互いを支え合う社会つくり～

障がいの有無に関わらず多くの人々に歌を通じて音楽の素晴らしさを伝えるために歌と手話で音楽を表現するサインシンガーソングライターという独自のジャンルを確立し、全国各地で手話ライブ活動を開催されています。耳の不自由な両親の体験談や優しい歌声による心温まるトーク&コンサートです。

※入場無料

※令和4年度人権ポスター特選

作品を会場入口に展示します。

